



ロシアNIS経済速報

一般社団法人 ロシアNIS貿易会 2013年（平成25年）4月5日号 No. 1591

目次

■ 国家プログラムの採択が相次ぐロシア	服部 倫卓 1
■ 統計速報	6
2013年1～2月の日本の対ロシア・NIS諸国輸出入通関実績／6	
2013年1～2月の日ロ貿易／7	
■ トピックス	8
日揮、ロシアのヤマルLNGプラント設計を受注／8	
テルモがロシア現地法人を設立／9	
河合楽器、モスクワに販売会社開設へ／9	
■ エトセトラ	9
「日露医療フォーラム」のご案内／9	
カムチャッカ地方・経済投資プレゼンテーションのご案内／9	
日本トルクメニスタン投資環境整備ネットワークのサイト開設／10	
ロシアNIS貿易会のFacebookページ開設／10	

国家プログラムの採択が相次ぐロシア

ロシアNIS経済研究所 次長

服部 倫卓

はじめに

ロシア政府は現在、実に42本に上る国家プログラムを策定するという課題に取り組んでおり、その作業が大詰めを迎えている。ロシアのこうした政策文書に関しては、「実効性が低い」として、冷ややかに見る向きも多いかもしれない。それでも、現政権の政策体系の全体像を把握しておくことは、今後のロシアの行方を見極める上で、決して無駄ではあるまい。そこで、速報の今号では、ロシアで策定されつつある42本の国家プログラムの一覧を掲載し、若干の解説をお届けする。なお、一連のプログラムの中でも、おそらく読者の最大の関心事は、極東開発プログラムであろう。難航していた極東プログラムも、2013年3月29日付で採択されたので、それについても簡単に言及してみたい。